

第4回

JSURT 泌尿器画像診断・治療技術研究会

Japanese Society
of Uroradiologic and
Therapeutic Technology

二〇一六年

九月二三日(金)～二四日(土)

会場

ウエステイン都ホテル京都

〒六〇五・〇〇五(一) 京都市東山区粟田口華頂町一(三条けあげ)

当番
幹事

〈泌尿器科〉

江藤 正俊

九州大学大学院医学研究院 泌尿器科分野

〈放射線科〉

山下 康行

熊本大学大学院生命科学研究部 放射線診断学分野

プログラム・抄録集

テーマ

画像診断と泌尿器科学とのCollaboration

ご挨拶

このたび第4回JSURT（泌尿器画像診断・治療技術研究会）を主催させていただくことになり、大変光栄に存じます。

本研究会は、放射線科医と泌尿器科医が一同に会して、泌尿器科疾患に対する画像診断の先端的な臨床応用の推進、診療における啓蒙をはかり、会員相互の情報交換および教育を通じて、学術の発展に寄与し、高度医療技術の普及による社会福祉の向上を目的として2013年に設立されました。近年の泌尿器科学の進歩は目覚ましく、診断においては造影超音波、CTurography、拡散強調画像、PETの新しい核種などが診断精度の向上に貢献しつつあります。一方、治療においてもロボット支援手術の普及や分子標的薬の導入など大きく変わりつつあります。これまで行われた第1回大会（神戸大学主催）、第2回大会（東北大学主催）、第3回大会（慶應大学主催）において、放射線科医と泌尿器科医の間で多くの情報交換を行い、泌尿器科疾患に対する最新の画像診断や治療についての相互理解が深まってきました。

その一方で、これまでの3つの大会を通じて、放射線科医と泌尿器科医のそれぞれ一方では常識に近いのに、一方はほとんど知らないようなテーマがあることもわかってきました。それらを鑑みて今回は泌尿器科と放射線科の相互のCollaborationをより深めることを目的に、テーマは「画像診断と泌尿器科学とのCollaboration」と致しました。具体的には、診断では腎三次元画像の新展開、腎生検に対する双方の考え方、前立腺癌に対するMRIの新たな位置づけ、前立腺生検の新たな展開、膀胱癌の最新診断法等に焦点を当てる予定です。治療では前立腺癌、上部尿路上皮癌に対するリンパ節郭清、去勢抵抗性前立腺癌に対する薬物療法、腎腫瘍に対するfocal therapyの新たな展開等のトピックスを扱う予定です。これらの企画にて双方の共通認識を増やすことで、Collaborationがより深まればと考えております。一般演題ポスターにおいてもbest poster awardを企画致しておりますので、多数の先生方のご参加をお待ち致しております。

第4回JSURT（泌尿器画像診断・治療技術研究会）当番幹事
江藤 正俊
（九州大学大学院医学研究院 泌尿器科分野）



第4回JSURT（泌尿器画像診断・治療技術研究会）当番幹事
山下 康行
（熊本大学大学院生命科学研究部 放射線診断学分野）



■ 代表幹事

杉村 和朗（神戸大学 放射線医学分野）

荒井 陽一（東北大学 泌尿器科学分野）

■ 幹事

荒井 陽一（東北大学 泌尿器科学分野）

高瀬 圭（東北大学 放射線診断科）

釜井 隆男（獨協医科大学 泌尿器科）

楫 靖（獨協医科大学 放射線医学講座）

大家 基嗣（慶應義塾大学 泌尿器科）

陣崎 雅弘（慶應義塾大学 放射線診断科）

三木 恒治（済生会滋賀県病院, 京都府立医科大学 泌尿器先端医療学講座）

山田 恵（京都府立医科大学 放射線診断治療学講座）

東 治人（大阪医科大学 泌尿生殖・発達医学講座 泌尿器科学教室）

鳴海 善文（大阪医科大学 放射線医学教室）

藤澤 正人（神戸大学 腎泌尿器科学分野）

杉村 和朗（神戸大学 放射線医学分野）

那須 保友（岡山大学 泌尿器病態学）

金澤 右（岡山大学 放射線医学）

江藤 正俊（九州大学 泌尿器科学分野）

山下 康行（熊本大学 放射線診断学分野）

■ 監事

小川 良雄（昭和大学 泌尿器科学講座）

後閑 武彦（昭和大学 放射線医学教室）

ご案内

1. 総合受付

1) 日 時

2016年9月23日(金) 12:00～

9月24日(土) 8:00～

2) 場 所

ウェスティン都ホテル京都 2F 山城の間前 ロビー

3) 受付方法

当日受付にて参加費をお支払いください。

■参加費

	参加費
医師・企業	10,000円
技師・コメディカル	5,000円
初期研修医	1,000円
学生(学部)	無料

※参加費には情報交換会参加費2,000円を含む
(ただし初期研修医、学生は情報交換会参加費無料)

2. 座長・演者の先生へ

1) 座 長

- ・セッション開始15分前までに、会場内右前方「次座長席」へお着きください。
- ・セッションの終了時間を厳守してください。

2) 演 者

- ・発表の30分前までにPC受付にて発表データのチェックを行ってください。
混雑が予想されますので、PC受付が開いている時に随時、前もって行っていただきますよう
ご協力をお願いいたします。
- ・PC受付での発表データの修正作業は、準備進行の妨げになりますのでご遠慮ください。
- ・PC本体をお持ちの方はデータ確認終了後、発表会場のPCオペレーター席までご自身でお
持ちください。
- ・会場に設置されるプロジェクターは1画面となり、解像度は1024×768ピクセルです。
- ・当日は演者ご自身で演台上に設置されているキーボード及びマウスにて操作していただき
ます。

<発表時間>

一般演題: 1 演題8分(発表6分+質疑応答2分)

ご 案 内

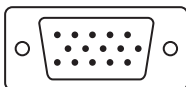
【ご発表機材について】

＜データをお持ち込みの方＞

- ・PC（パソコン）での発表のみ可能です。プロジェクターは1台のみの使用となります。
会場ではWindowsとMacintoshをご用意いたします。
データについてはCD-R、DVD-RまたはUSBフラッシュメモリのメディアにてご持参ください（CD-RW、DVD-RWは不可）。
- ・ご発表用アプリケーションについては以下のバージョンをご用意いたします。
Windows PowerPoint:2007、2010、2013
Macintosh PowerPoint:2008、2011 Keynote:5、6
- ・フォントは、文字化けやレイアウトの変化を防ぐために、標準搭載のフォントを使用されることを推奨いたします。
- ・動画をご使用の場合は、PowerPointとのリンク状態を保つ為、動画ファイルも同じフォルダに保存してください。
動画ファイルの形式については、Windowsの場合、Windows Media Player11の初期状態に含まれるコーデックで再生できる動画ファイルをお持ちください(動画ファイルはWMV形式を推奨します※AVIはCODECによって再生できない場合があります)。
また、Macintoshの場合はQuickTime Player10の初期状態に含まれるコーデックで再生できる動画ファイルをお持ちください(動画ファイルはMOV形式を推奨します)。
- ・動画ご使用の場合は、ご自身のPCをお持込いただくことをお勧めいたします。
- ・音声は使用できません。
- ・発表者ツールは使用できません。
- ・お預かりした発表データは、会終了後にコンピューターより消去いたします。

＜PC本体を持参される方＞

- ・PC持込の場合は、外部ディスプレイ出力が可能であることを必ずご確認ください。出力端子がMiniD-sub 15ピンでないものは、接続アダプターをご持参ください。



MiniD-sub 15 ピン

※HDMIやMini DisplayPortなどD-sub 15ピン以外の接続はお受けできませんので予めご了承ください。

- ・画面サイズ(解像度)はXGA(1024×768)となります。
- ・この環境で画面の全てが不具合無く表示される事を予めご確認ください。
- ・バッテリー切れを防ぐため電源アダプターをご持参ください。
- ・スクリーンセーバー、省電力設定、パスワードは(Macintoshの場合はホットコーナーも)あらかじめ解除をお願いします。
- ・再起動することがありますのでパスワード入力は不要に設定をお願いいたします。
- ・音声は使用できません。
- ・発表者ツールは使用できません。

3. ポスター発表について

1) ポスター・展示会場：

ウェスティン都ホテル京都 2F
山城の間(西)

2) 受付

第1日目の9月23日(金)午前12:00～
13:00の間に総合受付にてポスター
受付をお済ませください。

ポスターを掲示するパネルに演題
番号がついていますので、パネルに
取り付けているプッシュピンを利用
して掲示してください。

3) ポスター発表

<掲 示>

9月23日(金)12:00～13:00

<閲 覧>

9月23日(金)13:00～9月24日(土)16:00

<ディスカッション>

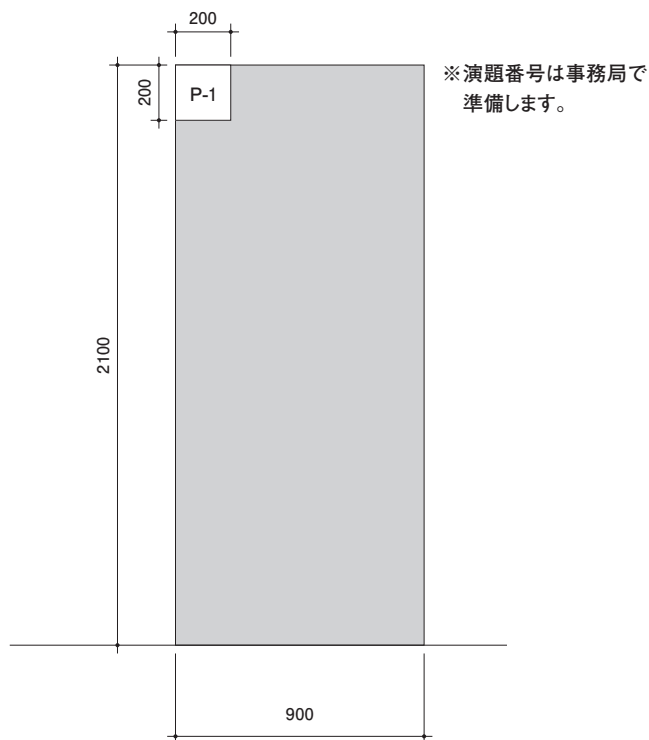
9月24日(土)13:05～13:55 ※2セッション同時開催

<発表時間>

1 演題7分(発表3分+質疑応答4分)

* 閉会式で、優秀演題をBest Poster Awardとして表彰します。

4) 全プログラム終了後は、直ちにポスターの撤去をお願い致します。終了後30分経過しても残っているポスターは処分致しますので、ご了承ください。



4. 幹事会

1) 日 時：2016年9月23日(金) 11:30～12:30

2) 場 所：ウェスティン都ホテル京都 4F 稔りの間

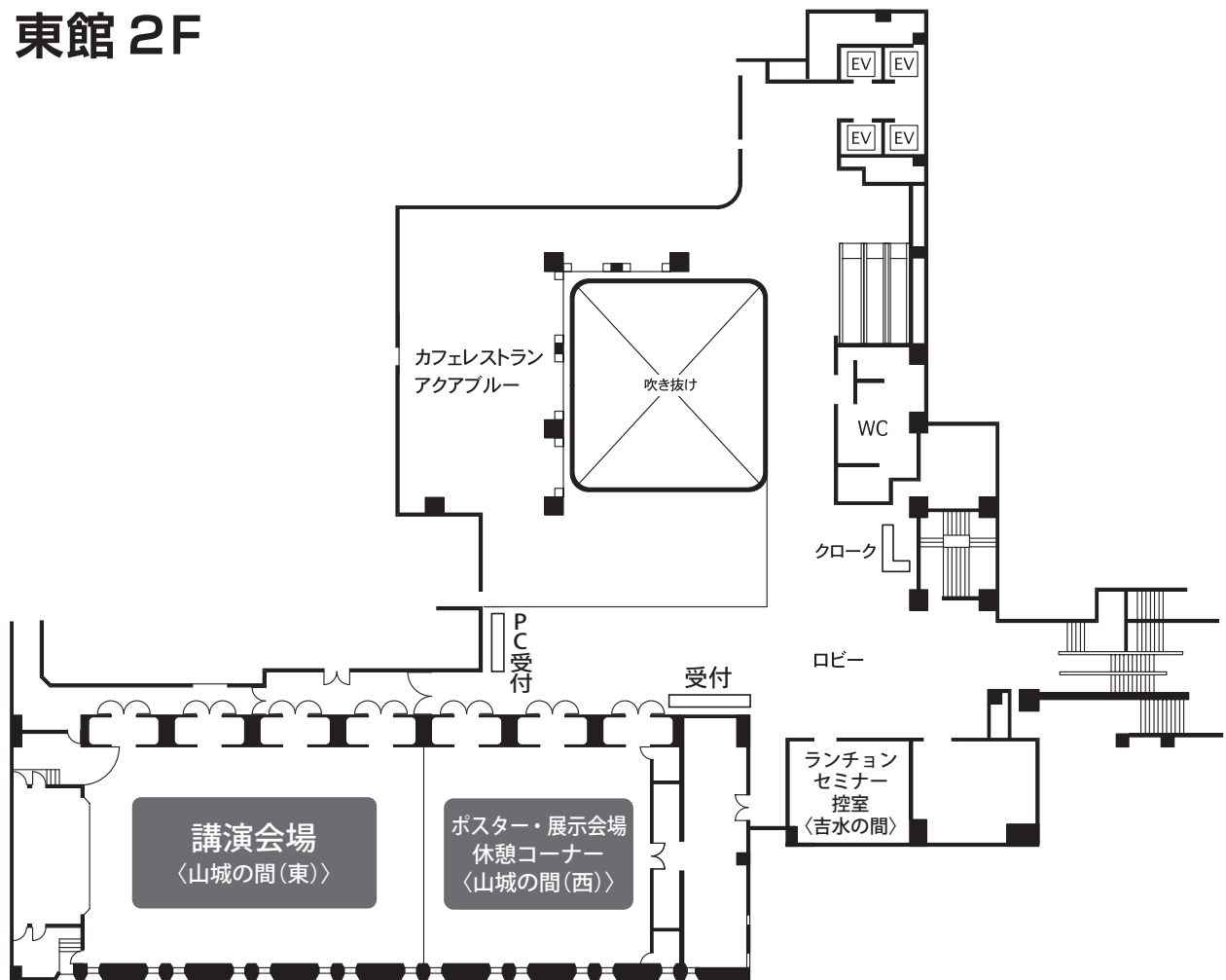
5. 情報交換会

1) 日 時：2016年9月23日(金) 18:50～

2) 場 所：ポスター・展示会場(ウェスティン都ホテル京都 2F 山城の間(西))

会場フロア図

東館 2F



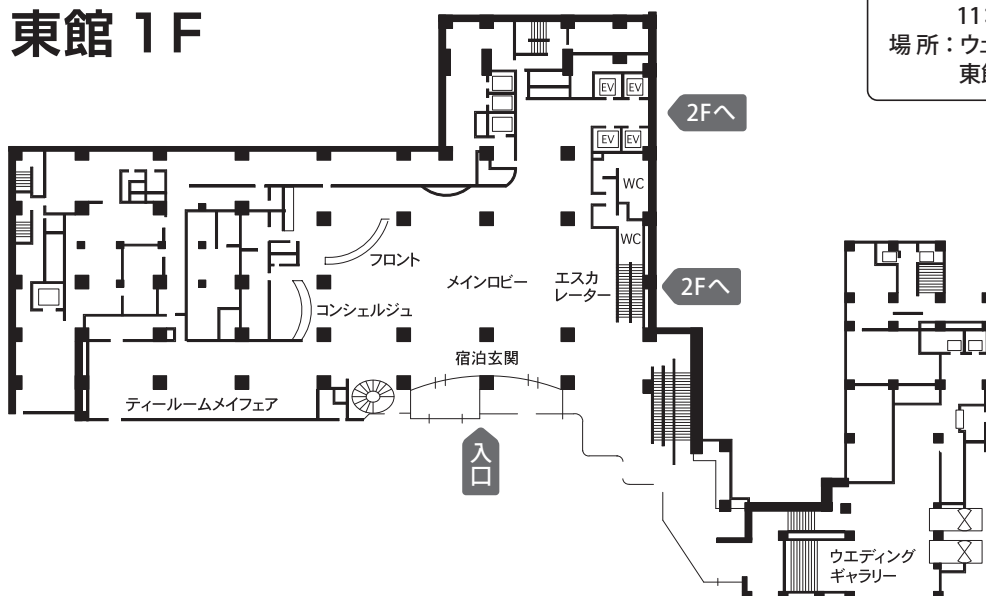
【幹事会】

日時：2016年9月23日(金)

11:30~12:30

場所：ウェスティン都ホテル京都
東館4F 稔りの間

東館 1F



プログラム

プログラム

【1日目】 2016年9月23日(金)

12:55	開会の辞
13:00	セッション1「前立腺癌治療の新たな展開」
	<座長> 後閑 武彦 (昭和大学・放) 三宅 秀明 (浜松医科大学・泌) S1-1 ロボット支援前立腺全摘術における拡大リンパ節郭清 服部 一紀 (聖路加国際病院・泌) S1-2 去勢抵抗性前立腺癌に対する薬物療法の現況と展望 三宅 秀明 (浜松医科大学・泌) S1-3 Brachy-trimodality (小線源治療を含めた三者併用療法) 萬 篤憲 (東京医療センター・放)
14:20	セッション2「腎生検の意義」
	<座長> 江藤 正俊 (九州大学・泌) 山下 康行 (熊本大学・放) S2-1 基調講演「腎腫瘍生検の現状」 陣崎 雅弘 (慶應義塾大学・放) S2-2 ディベートセッション 腎生検賛成の立場から 藤井 靖久 (東京医科歯科大学・泌) S2-3 ディベートセッション 腎生検反対の立場から 富田 善彦 (新潟大学・泌) 【共催】 ノバルティスファーマ株式会社
15:20	ポスター閲覧
15:40	一般演題 口演
	<座長> 浮村 理 (京都府立医科大学・泌) 片平 和博 (熊本中央病院・放)
16:40	イブニングセミナー「膀胱癌の最新診断」
	<座長> 鳴海 善文 (大阪医科大学・放) 東 治人 (大阪医科大学・泌) ES-1 5-aminolevulinic acid (5-ALA)を用いた最新診断 井上 啓史 (高知大学・泌) ES-2 Narrow band image (NBI)を用いた最新診断 立神 勝則 (九州大学・泌) ES-3 膀胱癌のMRI診断:DWIとDCE-MRI 丸上 永晃 (奈良県立医科大学・放) 【共催】 エーザイ株式会社
18:00	機器メーカーによる最新機器 プレゼン
	<座長> 山下 康行 (熊本大学・放) GEヘルスケア・ジャパン株式会社 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン 東芝メディカルシステムズ株式会社
18:50	情報交換会

【2日目】 2016年9月24日(土)

9:00	モーニングセミナー「腎三次元画像の新展開」 <座 長> 陣崎 雅弘 (慶應義塾大学・放) 藤澤 正人 (神戸大学・泌) MS-1 泌尿器科医がもつめる3次元画像を提供するための撮像時の工夫 高橋 哲 (神戸大学・放) MS-2 腎癌手術のための3D構築 古川 順也 (神戸大学・泌) 【共催】 ファイザー株式会社
10:00	セッション3「腎癌、AMLに対する新たな治療戦略」 <座 長> 山門 亨一郎 (兵庫医科大学・放) 三木 恒治 (済生会滋賀県病院, 京都府立医科大学・泌) S3-1 腎癌の凍結治療:どこまで治療できるか 郷原 英夫 (岡山大学・放) S3-2 結節性硬化症によるAMLに対するラジオ波焼灼術 田上 憲一郎 (熊本大学・泌) 【共催】 第一三共株式会社
11:00	セッション4「上部尿路癌治療の新展開」 <座 長> 金澤 右 (岡山大学・放) 大家 基嗣 (慶應義塾大学・泌) S4-1 所属リンパ節とリンパ節郭清の意義 猪口 淳一 (九州大学・泌) S4-2 上部尿路癌に対する化学療法の新展開への期待 菊地 栄次 (慶應義塾大学・泌)
12:05	事務局連絡
12:10	ランチョンセミナー <座 長> 小川 良雄 (昭和大学医学部・泌) LS 骨転移に対する新しい放射性治療薬,Ra-223 -当院での診療科横断的な取り組み- 木村 剛 (日本医科大学・泌) 【共催】 バイエル薬品株式会社
13:05	ポスターディスカッション <座 長> 荒木 元朗 (岡山大学・泌) 高畑 暁子 (京都府立医科大学・放)
14:05	セッション5「前立腺癌診断におけるMRIの位置づけ;適応、読影法」 <座 長> 杉村 和朗 (神戸大学・放) 清治 和将 (東北大学・放) S5-1 前立腺癌のMRI:ACR appropriateness criteria とPI-RADS 楯 靖 (獨協医科大学・放) S5-2 マルチパラメトリックMRIの前立腺癌診断能における前立腺生検の影響について 河野 吉昭 (熊本大学・泌) 【共催】 武田薬品工業株式会社
15:00	セッション6「前立腺生検の新たな展開」 <座 長> 楯 靖 (獨協医科大学・放) 釜井 隆男 (獨協医科大学・泌) S6-1 MRI-TRUS融合画像ガイド下前立腺生検のsignificant cancer検出における有用性 小路 直 (東海大学医学部附属八王子病院・泌) S6-2 MRIガイド下前立腺生検の臨床的有用性について 片平 和博 (熊本中央病院・放) 【共催】 ヤンセンファーマ株式会社/アストラゼネカ株式会社
15:55	閉会の辞 後閑 武彦 (昭和大学・放) 小川 良雄 (昭和大学医学部・泌)

一般演題（口演）

2016年9月23日（金）15:40～16:20

〈座長〉 浮村 理（京都府立医科大学・泌） 片平 和博（熊本中央病院・放）

O-1	2つの片側小径腎腫瘍に対し一期的腎部分切除を施行した1例	鈴木 英孝（JCHO 札幌北辰病院 泌尿器科）
O-2	腎盂浸潤により腎盂癌との鑑別を要した乳頭状腎細胞癌の一例	中西 雄亮（島根大学 泌尿器科）
O-3	副腎平滑筋肉腫の1例	河合 雄一（名古屋第一赤十字病院 放射線診断科）
O-4	当院における前立腺癌を対象とした11C-コリンPET/CT症例の検討（初期経験）	北島 一宏（兵庫医科大学 放射線医療センター 核医学・PET診療部）
O-5	4次元ウロダイナミックCTを用いた前立腺形態評価と排尿評価	森 紳太郎（平塚市民病院 泌尿器科）

一般演題（ポスター）

ディスカッション：2016年9月24日（土）13:05～13:55

〈座長〉 荒木 元朗（岡山大学・泌） 高畑 暁子（京都府立医科大学・放）

P-1	Xp11.2転座型腎細胞癌の画像的特徴	内藤 晶裕（東京大学大学院 医学系研究科 泌尿器外科学）
P-2	腎腫瘍と肺嚢胞を認め、Birt-Hogg-Dube (BHD) 症候群と遺伝子診断された3例	田中 宇多留（神戸大学大学院 医学研究科 内科系講座放射線医学分野）
P-3	ファントム実験によるDual-Energy CTを用いた鉄・脂肪混合物の構成要素解析	寺田 大晃（広島大学大学院医歯薬保健学研究院 放射線診断学）
P-4	IVC腫瘍栓およびAVF合併腎細胞癌からの血尿に対してTAEを施行した1例	湯浅 憲章（製鉄記念室蘭病院 放射線科）
P-5	腎カルチノイドの1例	田中 賢一（香川大学医学部 放射線医学講座）
P-6	腎ラブドイド腫瘍の1例	児島 聡一（岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 放射線医学）
P-7	Composite paraganglioma with ganglioneuromaの一例	小澤 奈々（京都府立医科大学 放射線科）
P-8	10mm以下のsignificant cancer検出におけるMRI-TRUS融合画像ガイド下前立腺生検の成績	小路 直（東海大学医学部付属八王子病院 泌尿器科）
P-9	当院における前立腺癌症例の術前MRIと手術病理標本の対比	本田 有紀子（広島大学 放射線診断科）
P-10	前立腺癌の局在診断における超音波画像化技術の有用性検証	新地 祐介（防衛医科大学校 泌尿器科学講座）
P-11	CT urographyで診断されたureteral pseudodiverticulosの一例	早川 望（慶應義塾大学医学部 泌尿器科学教室）
P-12	新たな泌尿器造影検査3D回転撮影、Cone-beam CTの有用性	江戸 博美（東邦大学医療センター 大橋病院 放射線科）
P-13	血管塞栓術で止血しえた膀胱タンポナーデを伴う骨盤部AVMの1例	柏木 英志（九州大学大学院 医学研究科 泌尿器科学分野）